



第27号

発行/社会福祉法人素心会 素心学院
 責任者/彦坂 健一郎
 〒259-01 神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
 TEL 0463-71-1255番



5月21日~22日
東京ディズニーランド



'97 選ぶ旅行



5月26日~27日
柴又、鎌倉シネマワールド

虫窪24番地
 いーくば ニューエイジ・クラブ
 ポストにプチ(我が家の愛犬からのハガキがあった。急いで部屋に入り、わくわくしながら読む。そして、お茶を飲みながらも一度ゆつくり目を通す。実は、父からの便りなのだが、差し出し名はプチで内容もプチの目から見た家族の様子が書かれています。今日は、散歩後にシャンブーをしたか、テーブルにあった買ったばかりのパンを全部食べてしまい怒られたか。父は野球観戦に出かけ、母は布団を干しているなど日記のようです。読んでいて笑ってしまったり、胸にじーんときたり、励まされたりと後から何度も読めて楽し手紙って良いものだと思えます。どちらかと言うと電話の苦手な私は、普段読んでしまおうようなことも素直に伝えられる気がします。空窪から見える富士山や青い空と海、きれいな花や木々の緑を見て嬉しくなったことや、素敵な人々に出会って元気がでたことも書いて、早くみんなに会いたいなんて私達は、それぞれ離れて暮らしているけれど、プチの便りのおかげでより近くに感じられます。休日に私も返事を書こう。日当たりの良いベランダで寝そべって、プチは何を考えているかを思いなが(佐俣和江)

ボランティア活動への
LA・PORTE
 「障害のある人やお年寄りに優しい町は、すべての人に対して優しい町である。」
 私たちと共に福祉を考え、支え、参加して優しい町づくりを目指しませんか

会費は個人 年一1,000円です。
 団体会社 10,000円です。
 会費は全部「そしん」が郵送されます。

その他にも、運動会や納涼祭ボランティア等日などのボランティアが盛り合います。
 後援としては、会費の力が無い限り、いろいろ協力や賛助の力を考えております。

- ①銀行振込は
 中南信金庫 国府支店 14-0139723
 本店 011-0303045
 横浜銀行 大磯支店 651-1029212
 さがみ信金庫 国府支店 030-0065652
- ②郵便振替は
 どこの郵便局でも00270-0-19607です。
- ③口座名は
 「素心会後援会」
 ※新しく会員になる方は、ご住所を電
 話等で知らせていただくようお願い
 します。

〒259-01 神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
 素心学院内 ●担当 投野/新藤
 TEL.0463-71-1255 673-0009

《現在会員数》**350**名

素心会の後援会の会員を募集しています。

「希望の方は事務局までご連絡ください。」

理事会の動き
 ◇第一〇六回理事会報告
 平成七年十月二十一日(土)に、素心学院にて開催、八名の理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
 一 平成七年度第三次補正予算について、法人、施設それぞれ会計とも原案どおり承認されました。
 二 育成児休暇規程の改正について、法律の改正に基づき、素心会育児休暇規程が改正されました。
 三 報告事項として平成六年度の監事監査結果の報告があり、また施設運営の現状についての発表が行われました。
 ◇第一〇七回理事会報告
 平成八年三月十六日(土)に、平塚ラスカサロンにて開催、八名の理事が出席し、次の通り審議、決定されました。

として、平成七年度の運営状況の監査結果が報告されました。
 一 平成七年度事業報告並びに決算について、法人、施設、ホームそれぞれ、原案どおり承認されました。
 二 平成八年度事業計画、予算について、各事業計画並びに予算が決定されました。
 三 就業規則、給与規程、旅費規程、について、それぞれ実情に合わせ、全面、一部改正されました。
 四 常務理事の指名について、平成七年十月三十日付けで新しい定款が認可されたので、理事については全員で再選されました。監事については、大坪龍雄氏より一身上の都合により辞任したい旨の申し出があり、受理されました。その結果、河内智恵子監事の再任と、大坪氏の後任として、(社福) 神奈川厚生協会・貴峯 庶務部長の飯田勇氏が決まりました。

◇第一〇九回理事会報告
 平成八年一月十九日(土)に、平塚ラスカサロンにて開催、八名の理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
 一 平成八年施設会第二次補正予算について、大型洗濯機・大型ガス乾燥機の購入を目的とした補正予算が承認されました。
 二 通所施設の施設計画について、補助金を申請し、通所施設を新設する計画が承認されました。



内海 健司さん

「内海健司さん(のん)」
 施設長 彦坂健一郎
 平成八年十二月三十一日、午後六時二十五分、入所利用者の内海健司さんは、東海大学大磯病院において敗血症により息を引き取りました。十八年間の短い生涯でした。平成元年七月一日に地元二宮町より素心学院通所部へ入所し、平成五年五月に入所部に移動しました。七年間余りのおつきあひとなりました。はじめの内海さんと出会った頃の印象としては、いつも満面の笑顔を絶やさず、又ボツリボツリと語る言葉にこちらがたたくさん励まされていたものがたたくさん励まされていたものでした。しかし、内臓の病気を患った頃から少しずつ表情が硬くなり、又心と体の

編集後記
 利用者と車で外出の帰り道、大雨に見舞われた。海岸沿いは通行止、国道は大渋滞。時間を気にして焦る私を尻目に、Yさんは満面の笑顔で「雨!雨!。雨!雨!。何だか可笑しくなって二人で笑いだした。楽しい一日だった。(荘司)

最近の朝刊で、「五番目の八〇〇メートル峰が確認された」と報じられた。場所は中国新疆ウイグル自治区のカシガル地区。「中央峰」と名付けられたそうだ。衝撃的である。「事実なのか」「未踏峰か」「誰が初登頂を」「いつ?」願わくば純粋に冒険心を持った尊敬される山男・女の手によって入ったか……。(長谷川)

素心のクラブ活動の作品は展覧会等でも評価を得ている。利用者の持つ立派な才能である。かねがね自分も趣味を持ちたいと思っていたが、粘り強く取り組むまで、何もない。これは、父親から引き継いだ血である。この前七才の息子が野球デブアハ、ヤメタと言った理由を聞く。とウマクナナイカ野球ナントモウデキナクテイインデスと言っ。やはり血である。(秋原)

